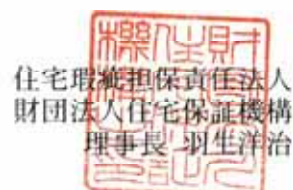




## 設計施工基準第 3 条に係る確認について

日本躯体処理株式会社  
代表取締役 平松 賢士 殿



平成 22 年 8 月 31 日付けでいただきました「RC ガーデックス防水工法」に係る申出につきましては、当機構住宅瑕疵担保責任保険（まもりすまい保険）設計施工基準第 3 条に基づき、下記のとおり取扱いができることを確認いたしましたので通知いたします。

つきましては保険契約申込み手続き等に遺漏がないようお願い申し上げます。

### 記

1. 工法または建築材料の名称  
RC ガーデックス防水工法
2. 工法または建築材料の概要  
コンクリートの水密性を向上させる防水剤をコンクリート打設後に塗布することでコンクリート自体に防水性を持たせる工法。コンクリート等の仕様は下表によるほか「RC ガーデックス製品のご案内」に従うことを条件とする。

RC ガーデックス防水工法に係るコンクリート等の仕様表		
コンクリートの調合	水セメント比	45%～60%
	単位水量	185 kg/m <sup>3</sup> 以下
	スランプ値	18 cm以下
スラブの形状	勾配	1～3/100
	スラブ厚	15 cm以上
コンクリートの打設 及び 打設後の措置	打設方法	パイプレーター及びタンピング等による締め固め・脱泡、レイタンスの除去
	ひび割れ防止措置	開口部等の補強、メッシュ
	ドレイン廻り納め	充填用施工目地を設置
	打設時の管理体制	コンクリート技士及び2級以上の建築施工管理技士（躯体）による施工
	型枠存置期間	JASS 5に準拠
	養生方法	施工後、夏季は4日間、冬季は2日間を目処に散水

3. 適用地域  
全国
4. 適用範囲・部位  
鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造の屋根（開放廊下、バルコニー等で下階が室内となるものを含む）
5. 当該工法または建築材料を用いた場合に適用を除外する条項  
設計施工基準第 14 条第 2 項（防水工法）、第 15 条（パラペット上端部）、第 17 条（排水勾配）
6. 保険契約申込み手続きのための要件  
①保険契約申込みの際に本書の写しを提出してください。  
②断面図等に当該工法を用いることを明記いただくよう、設計者へご指示ください。
7. 適用日  
平成 21 年 7 月 1 日以降にまもりすまい保険の保険契約申込みを受け付けた住宅から適用します。ただし、本書発行後であっても保険契約上、引受けることができないと認められる場合には両者協議の上、変更又は取消しを行う場合があります。